

日本教育方法学会 第37回大会プログラム

《大会日程》

第 一 日 9月 29日・土	9：30	課 題 研 究 I 「子どもの参加」による教育活動の 編成と展開				課 題 研 究 II 「総合的な学習」と教科教育の課題		
	11：30							
	11：40							
	12：30	総 会						
	13：30	休 (昼食) 憩						
		自由研究 1	自由研究 2	自由研究 3	自由研究 4	自由研究 5	自由研究 6	自由研究 7
	15：30							
	15：50							
		シ ン ポ ジ ウ ム 21世紀の学校と学びのあり方を考える						
	18：20							
	18：30							
	20：00	会 員 憩 親 会						

第 二 日 9月 30日・日	9：30	自由研究 8	自由研究 9	自由研究 10	自由研究 11	自由研究 12	自由研究 13
	12：00	休 憩					
	13：00	課 題 研 究 III 授業改善に教育評価は どうかかわるか		課 題 研 究 IV 情報通信技術（ICT） による学びの変化と その研究のあり方		課 題 研 究 V 授業研究方法論の検討 －岡山市内小学校での実際の 授業づくりを基にして－	
	15：00						

2001年 9 月29日(土)・ 9 月30日(日)

於 岡山大学教育学部

大会参加要領

1. 会場案内：会場は、岡山大学教育学部です。会場への経路につきましては、次頁をご参照ください。

2. 受付：大会第1日目(9月29日・土)は8:30、第2日目(9月30日・日)は9:00からです。

受付は1階ロビーで行います。

- ・大会参加費(発表要旨集録代を含む)は、一般会員3,500円、学生会員2,500円です。
- ・当日会員(臨時会員)もこれに準じて受け付けております。
- ・本年度までの学会費(一般会員8,000円、学生会員6,000円)を未納の方は、あわせてお納めください。
- ・本年度の学会費を納入された方には、受付にて『教育方法30』をお渡しします。
- ・会員懇親会の参加受付も行いますので、ふるってご参加ください。詳しくは、13頁の「インフォメーション」をごらんください。
- ・受付にてネームプレートを用意しておりますので、お名前をお書きのうえ、おつけください。

3. 昼食：9月29日(土)は、学内の生協食堂が営業していますので、ご利用ください。
9月30日(日)は、生協食堂が営業しておりませんので、受付にて弁当券を販売する予定です。

4. 研究発表：発表会場につきましては、4頁の「教育学部講義室配置図」をごらんください。

- ・自由研究の発表時間は、以下の通りです。

個人研究：発表20分 質疑10分

共同研究：発表30分 質疑10分

(但し、口頭発表者が1名の場合は、個人研究に準じます。)

- ・自由研究における共同研究発表者の氏名は、「発表申込用紙」に記入された順序によります。また、○印は口頭発表者です。

5. 会場校連絡先：〒700-8530 岡山市津島中三丁目1番1号 岡山大学教育学部

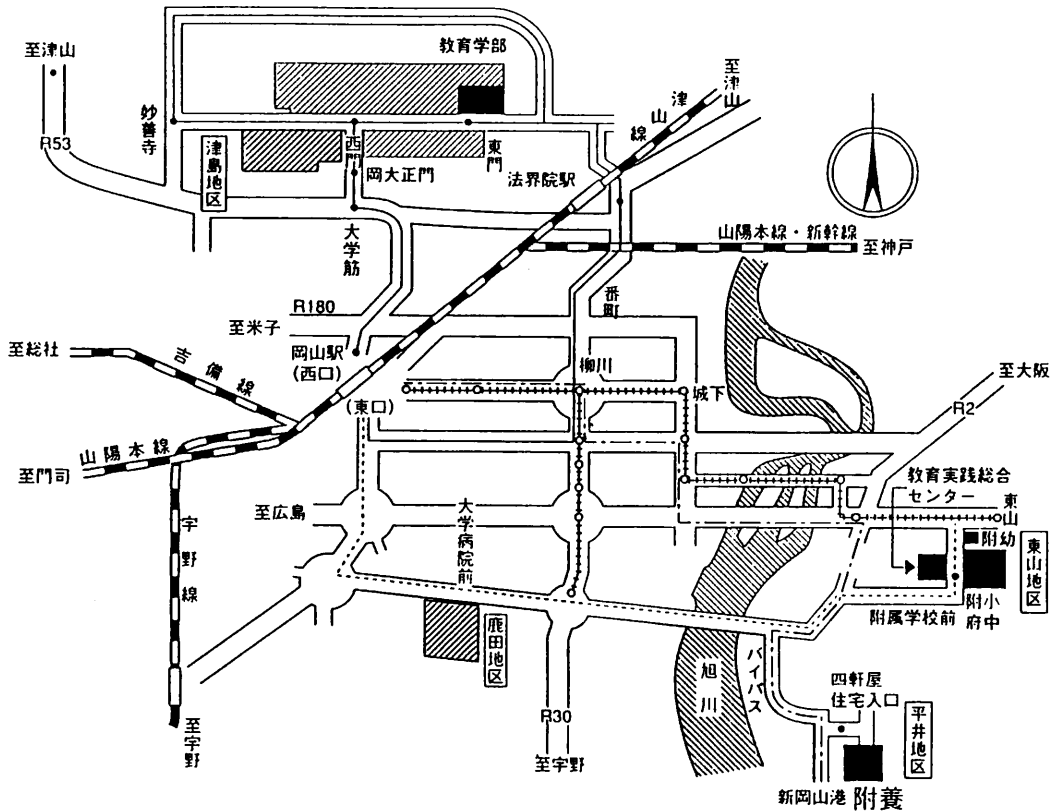
なお、大会に関するお問い合わせは、学会事務局(TEL. 0824-24-6744)にお願いいたします。

6. 付記：本大会に関しては、会場校に対して福武教育振興財団に後援していただいております。

記して、感謝申し上げます。

〈岡山大学教育学部案内図〉

【会場への主要経路】



岡山大学教育学部（津島キャンパス）への交通手段については、下記をご参照ください。

1. 岡山まで JR 利用の場合

- ①岡山駅前（東口）から岡電バス「岡山大学・妙善寺」行に乗車（4 番乗り場）, 「岡大東門」で下車（料金220円）。
* この路線は市内を廻るため時間がかかります。
- ②岡山駅西口から岡電バス「岡山理科大学」行に乗車, 「岡大西門」で下車（料金190円）, 徒歩 3 分。
* この路線は時間帯により, 「妙善寺」行となります。
- ③岡山駅西口からタクシー。岡山大学まで約 7 分。
- ④JR 津山線「法界院」駅で下車。徒歩約10分。

2. 岡山まで航空機利用

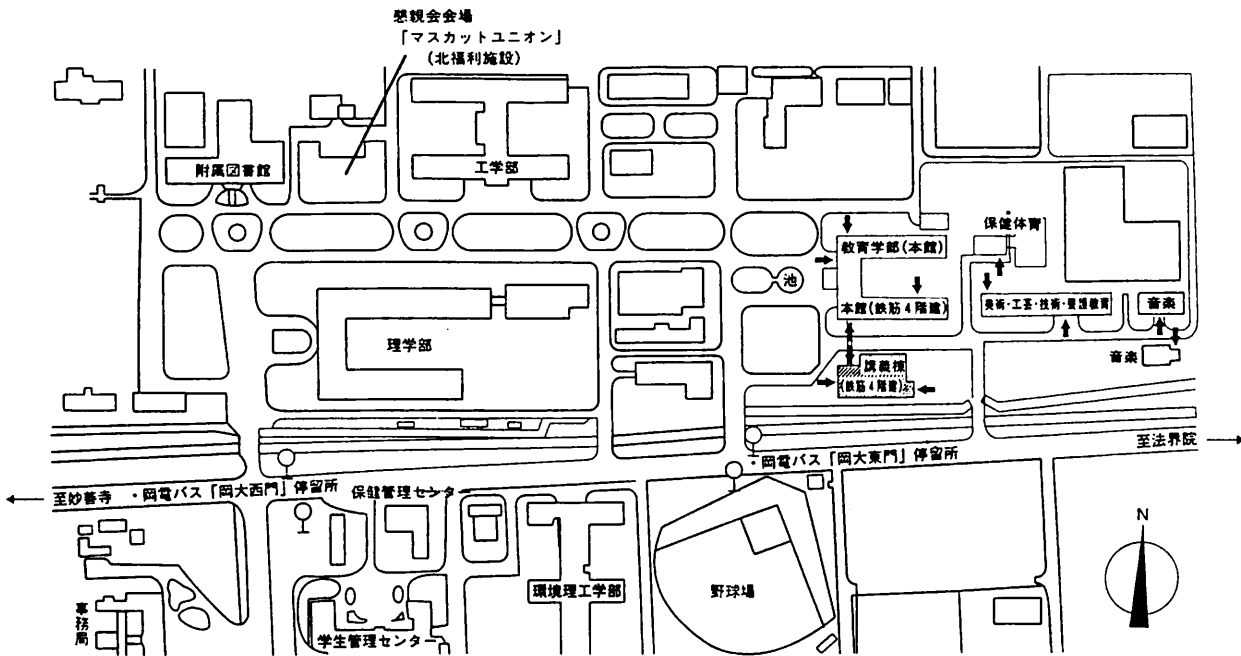
- ・岡山空港から中鉄バス「岡山市内方面」行に乗車, 「岡山大学筋」で下車（料金660円）, 徒歩約 7 分。

3. 岡山まで山陽自動車道利用

- ・岡山 IC で降り, 岡山市内方面へ国道53号線を直進, 右手に岡山県総合グラウンドの木々が見え始めたら, 約600メートルで岡山大学筋があります。左折すれば岡山大学に着きます。

* 岡山大学のホームページに地図等も記載されております。

〈教育学部講義室配置図〉



会場配置

- ・ 課題研究Ⅰ・Ⅳ：5206室
- ・ 課題研究Ⅱ・Ⅴ：5208室
- ・ 課題研究Ⅲ：5307室
- ・ 会員総会・シンポジウム：5202室
- ・ 自由研究1・8：5401室
- ・ 自由研究2・9：5403室
- ・ 自由研究3・10：5404室
- ・ 自由研究4・11：5405室
- ・ 自由研究5・12：5407室
- ・ 自由研究6・13：5303室
- ・ 自由研究7：5304室

*会員控室は、5101室です。
理事控室は、5102室です。
お茶などを用意しております。

*大会事務局は、1F理事控室前です。

*会員懇親会は、北福利施設「マスカットユニオン」で開催いたします。

講
義
棟

5401	5402	5403
5407	5406	5405
	5404	

四階

5301	5302	5303
コンピュータ実習室		
5307	5306	5305
	5304	

三階

留学生控室	5202	
5209	5201	5204
5208	5207	5206
	5205	

二階

掲示 板	5101	5102	
受 付 (ロビー)			
教務学生係		大会事務局	

一階

9月29日(土) 9:30～11:30

課題研究Ⅰ

「子どもの参加」による教育活動の編成と展開

(5206室)

コーディネーター

藤田昌士(帝京平成大学)

湯浅恭正(香川大学)

司会者

子安潤(愛知教育大学)

湯浅恭正(香川大学)

提案者

田代高章(岩手大学) 「子どもの参加」の実践的課題—小・中学校を中心に— ……21

藤田昌士(帝京平成大学) 実践事例の検討—高校段階を中心に— ……22

(設定趣旨)

本課題研究は、昨年度大会における課題研究「子どもの関係性の希薄化を克服する参加型学校づくり—子どもの参加による教育活動の編成と展開—」を受け継ぐものである。昨年度における提案と討論の主要点は、子どもの参加を基本的には企画・決定における参加としてとらえること、そして子どもの参加を基本的には教師(大人)と子どもによる共同決定への参加としてとらえながら、「子どもの参加」と個々の子どもが行う「自己選択」との区別を明らかにすること、さらに親(地域住民)・教師の参加と結合して子どもの参加を構想していくことなどにあった。

これらの論点についても、教師の専門性とはなにかという問いを含めて、さらに詳細な討論が求められる。それと同時に、今年度は実践事例に即しての検討を一つの課題としたい。広くは、小・中・高校の各段階、また教科と教科外にわたって、標記のテーマを追求したい。前年度にひきつづき提案者を2名にしぼり、より多くの時間を討論にあてる。

課題研究 II

「総合的な学習」と教科教育の課題

(5208室)

コーディネーター・司会者

小 泉 祥 一(東 北 大 学)

中 野 和 光(福岡教育大学)

提案者

寺 西 和 子(愛知教育大学) 総合的学習とポートフォリオ評価
(portfolio assessment)24

高 橋 英 児(山 梨 大 学) 「鍵的問題」とカリキュラム改革
ードイツにおける総合的学習と教科教育の課題ー25

稲 葉 宏 雄(龍 谷 大 学) 「学力保障」と「総合的な学習」26

指定討論者

長 尾 彰 夫(大阪教育大学)

藤 原 幸 男(琉 球 大 学)

(設定趣旨)

「総合的な学習」の平成14年度からの実施に向けて、現在、さまざまな取り組みがなされている。総合的学習の意味は認めるものの、教科の学習がおろそかとなることを危惧する声も強い。スコープとシークエンス、教科学習との関連、ポートフォリオ評価、取り扱う主題や問題はこれでよいのか、といった総合的学習の課題と同時に、到達度評価はどうなるのかといった教科教育の課題について考えてみたい。

自由研究 1

(5401室)

司会者 大槻和夫(安田女子大学)
松下佳代(群馬大学)

- 13:30 ① H. ジルールの批判的リテラシー論に関する研究28
竹川 慎哉(名古屋大学大学院)
- 14:00 ② E. D. ハーシュの「文化的リテラシー」論に関する一考察
－ Core Knowledge Foundation の実践分析を通して－29
谷川 とみ子(京都大学大学院)
- 14:30 ③ ホール・ランゲージ運動におけるリテラシー観の転換
－批判的リテラシー論の摂取の意義と課題－30
黒谷 和志(広島大学大学院)
- 15:00 ④ 迷走する学力論をどう前進させるか－学力の「質」をとらえる視点から－31
庄司 他人男(福島学院短期大学)

自由研究 2

(5403室)

司会者 田中 耕治(京都大学)
渡邊 光雄(筑波大学)

- 13:30 ① 授業プログラム「食事動作の援助」の検討32
花岡 眞佐子(北海道医療大学)
- 14:00 ② 参加体験型学習施設における「体験的な学習」と学校教育の連携
－新たな学びの場としての可能性をもとめて－33
○戸田 敬(埼玉大学大学院研究生)
石田 康幸(埼玉大学)
松橋 一男(埼玉大学)
- 14:30 ③ 短大生を対象とした内包量の理解に関する研究34
斎藤 裕(県立新潟女子短期大学)
- 15:00 ④ フィルムフォーラム型授業の点検と評価法35
大庭 茂美(九州女子大学)

9月29日(土) 午後

自由研究 3

(5404室)

司会者 小田切 正 (北海道浅井学園大学)
清水 毅四郎 (滋賀大学)

- 13:30 ① 戦前生活綴方における教育評価の問題ー加藤周四郎を中心にー36
川 地 亜弥子 (京 都 大 学 大 学 院)
- 14:00 ② 低学年児童における自己評価能力の育成に関する研究
ー環境教育の視点を通してー37
中 村 美和子 (東京都杉並区立八成小学校)
- 14:30 ③ 日本における現代魚附林思想の展開と環境教育・総合学習38
若 菜 博 (室 蘭 工 業 大 学)
- 15:00 ④ 伊那小学校の総合学習・総合活動に関する研究 (その2)
ー学習過程の開始期における子どもの興味・関心の発現と教師の関与を中心に(2)ー ...39
佐 藤 年 明 (三 重 大 学)

自由研究 4

(5405室)

司会者 森 本 信 也 (横 浜 国 立 大 学)
吉 崎 静 夫 (日 本 女 子 大 学)

- 13:30 ① 授業実践における構成主義の展開40
高 木 啓 (広 島 大 学 大 学 院)
- 14:00 ② 大正期の理科学習指導実践にみる子どもの学習問題の構成
ー「新学習過程」論に基づく神戸伊三郎の理科学習指導の授業分析ー ...41
岩 崎 紀 子 (京 都 大 学 大 学 院)
- 14:30 ③ 明治検定期算術教科書における分数乗法の内容構成(2)
ー第Ⅰ期・後期および第Ⅱ期の教科書を対象としてー42
岡 野 勉 (新 潟 大 学)
- 15:00 ④ Peirce 記号論による「映像」概念の再構築とその意義43
小笠原 喜 康 (日 本 大 学)

自由研究 5

(5407室)

司会者 土井捷三(神戸大学)
片上宗二(広島大学)

- 13:30 ① 総合的な学習の実践事例の分析を通しての地域教材の意味の検討44
林 憲子(名古屋大学大学院)
- 14:00 ② 総合的な学習における学習活動のタイプ分け45
○寺嶋浩介(関西大学大学院)
中橋 雄(関西大学大学院)
土井大輔(関西大学大学院)
水越敏行(関西大学)
- 14:30 ③ 子どもが主体的に追求する総合学習における教師の支援
ー高島小学校の「白紙単元」を中心としてー46
小野沢 美明子(東京学芸大学研究生)
- 15:00 ④ 総合的な学習に対する教師のスタンスの構成
ー総合の授業に対する教師の視点の構成ー47
石川英志(岐阜大学)

自由研究 6

(5303室)

司会者 奥平康照(和光大学)
山田 綾(愛知教育大学)

- 13:30 ① 特別なニーズ教育の展開と現代授業論の課題48
市野善成(広島大学大学院)
- 14:00 ② HR 集団の形成と教育実践ー私立T女子高等学校における参与観察からー49
竹石聖子(東京都立大学大学院)
- 14:30 ③ 教育困難校で授業参加をつくり出す教材の要件についての一考察50
井ノ口 貴史(大阪府立加納高等学校)
- 15:00 ④ 「学びの共同体」づくりと教師の指導性に関する一考察51
三橋謙一郎(徳島文理大学)

司会者 澤 本 和 子 (日 本 女 子 大 学)
山 田 昇 (共愛学園前橋国際大学)

- 13:30 ① カリキュラム編成主体としての教師の形成
ー戦前における教師の教科書批評に注目してー52
田 辺 基 子 (中 央 大 学 大 学 院)
- 14:00 ② 教師の専門性と指導案ー国語科の指導案私案ー53
麻 生 信 子 (筑紫女学園大学非常勤)
- 14:30 ③ 19世紀米国における専門職としての教師像
ーキャサリン・ビーチャーの教師教育に着目してー54
佐久間 亜 紀 (東 京 学 芸 大 学)
- 15:00 ④ 教育実習生の体育科指導における実践的知識の獲得に関する事例的研究 ...55
木 原 成一郎 (広 島 大 学)

9月29日(土) 15:50~18:20

シンポジウム

21世紀の学校と学びのあり方を考える

(5202室)

司会者

小川 博久(日本女子大学)

高旗 正人(岡山大学)

提案者

阿部 好策(新潟大学) ドイツ教授学における生きる力(行為能力)の指導を中心に56

柴田 義松(東京大学名誉教授) 日本の子どもの学力と学び方の質的転換を図るには ...58

日比 裕(東海学園大学) 学びの全体像と子どもの生活空間60

(設定趣旨)

学校完全週5日制の新教育課程がいよいよ来年から実施される。学校教育の「基調の転換」を図ることを力説して作成された新学習指導要領だが、このところ基礎学力の低下の懸念をはじめとしてさまざまな疑問や批判の声が高まっている。「生きる力」「ゆとり」「教育内容の3割削減」「総合的な学習」「基礎・基本の確実な定着」といった新教育課程のkey wordsについても、実質的内容とその意味が問われている。

新世紀の学校が真に望ましい「基調の転換」を成し遂げるためには、学校と学びのあり方をどう改めたらよいのか。教育方法学研究の立場からあらためて考え、討論を深めることにしたい。提案者とともに参加者の各位からも活発な意見の交流・検討が展開されることを期待したい。

インフォメーション

●会員懇親会

日 時 : 第1日(9月29日・土) 18:30から
会 場 : 北福利施設「マスカットユニオン」
会 費 : 3,000～4,000円(予定)

会員相互の親睦をはかるため、懇親会を開きます。多数の会員のみなさまの参加をお願いいたします。

●会員総会

日 時 : 第1日(9月29日・土) 11:40～12:30
会 場 : 5202室
主な議題 : 会務報告
2000年度決算
2002年度予算案
次期大会校

昼食・休憩前ですが、ぜひとも多数ご参集ください。

●書籍販売について

学会事務局では、受付にて学会機関誌『教育方法』、研究紀要『教育方法学研究』の最新刊およびバックナンバーを、会員割引価格で販売いたします。この機会にぜひお求めください。

また、本大会の『発表要旨集録』を別途希望される方には、1冊800円にて頒布いたします。

なお、『教育方法』最新刊(第30巻)は、本年度の学会費を納入された方には、受付の際にお渡しいたします。(大会以降に学会費を納入された方には、随時お手元に郵送いたしております。)

9月30日(日) 午前

自由研究 8

(5401室)

司会者 西岡 けいこ (香川大学)
諸岡 康哉 (金沢大学)

- 9:30 ① H. ワロンの乳幼児教育論
ー環境 (les milieux) 概念の再検討ー61
大 本 紀 子 (広島大学大学院)
- 10:00 ② 子どもの表現に対する援助のあり方の恣意性を問い直す
ー幼児の劇的表現の援助における教材解釈論の重要性ー62
岩 田 遵 子 (県立新潟女子短期大学)
- 10:30 ③ 教科関連における認識の発展
ー水の三態変化 (理科) からの音楽表現の分析を通してー63
斉 藤 百合子 (大阪教育大学附属平野小学校)
- 11:00 ④ 幼小接続の課題に関する考察64
上 野 ひろ美 (奈良教育大学)
- 11:30 ⑤ 総合的学習の成立の前提条件としての集団論軽視の問題性
ー幼児期の遊びにおけるインフォーマル集団の形成過程の観察視点からー65
小 川 博 久 (日本女子大学)

自由研究 9

(5403室)

司会者 高 田 喜久司 (上越教育大学)
山 口 満 (京都教育大学非常勤)

- 9:30 ① ペスタロッチー教育方法思想の展開過程に関する研究
ー「愛」の意味に焦点づけてー66
見 藤 尚 美 (兵庫教育大学連合大学院)
- 10:00 ② L. コールバーグのジャストコミュニティに関する一考察
ーモラルディスカッションから対話へー67
荒 木 寿 友 (京都大学大学院)
- 10:30 ③ 中学校での道徳教育ー規範意識をアンケート調査から考えるー68
原 田 一 成 (北海道教育大学大学院)
- 11:00 ④ 幼稚園・小学校・中学校・養護学校間の連携・交流教育とその効果69
○林 尚 示 (山梨大学)
進 藤 聡 彦 (山梨大学)
- 11:30 ⑤ 「生き方」に関する校種間連携のカリキュラム開発 (その2)ー目標の設定ー70
○進 藤 聡 彦 (山梨大学)
林 尚 示 (山梨大学)

自由研究10

(5404室)

司会者 市川 博(横浜国立大学)
谷川 彰英(筑波大学)

- 9:30 ① ラッグ社会科コースにおける「問題」編成と「問題解決学習」に関する一考察 …71
赤沢 早人(京都大学大学院)
- 10:00 ② 地理教育における社会的判断力の育成
ーイギリス中等段階地理教材の分析を通してー ……72
伊藤 直之(広島大学大学院)
- 10:30 ③ 開かれた経済的意思決定能力育成
ーシミュレーション教材『ミニソサエティ』の場合ー ……73
猪瀬 武則(弘前大学)
- 11:00 ④ 個別学習用教材開発の研究ー单元「森林と大気と生活」の学習書ー ……74
高山 芳治(岡山大学)

自由研究11

(5405室)

司会者 高須 一(広島大学)
水内 宏(千葉大学)

- 9:30 ① 「内的な能力」育成の音楽授業の方法論に関する一考察
ー大阪教育大学附属平野小学校の音楽授業の実践事例を中心にー ……75
董 芳 胜(兵庫教育大学連合大学院)
- 10:00 ② 都市中心部で暮らす子どもたちの音楽授業におけるポピュラー音楽の役割
ー1970年代のアメリカでの取り組みを中心にー ……76
磯田 三津子(東京学芸大学非常勤)
- 10:30 ③ 「大阪らしさ」を生かした総合的な学習
ー外国籍の子どもの「同化」から「異化」・「共有」へー ……77
宋 英 子(大阪市教育センター)
- 11:00 ④ Multiple Intelligences 理論に基づく授業方法の改善 ……78
○藤澤 義 栄(岩手大学大学院)
田代 高 章(岩手大学)
- 11:30 ⑤ 授業分析における子どもの発言の再構成(中間項)の位置と意味 ……79
○的 場 正 美(名古屋大学)
○柴 田 好 章(名古屋大学)
○石 原 正 敬(名古屋大学)
○林 憲 子(名古屋大学大学院)
○北 島 信 子(名古屋大学大学院)
山 川 法 子(名古屋大学大学院)

自由研究12

(5407室)

司会者 須田 勝彦(北海道大学)
中村 亨(西南女学院大学)

- 9:30 ① 授業分析にみられる授業の構造についての検討80
河井 正隆(大阪大学大学院)
- 10:00 ② 「装置」構築としての授業—小幡肇『『気になる木』の『はっぱ』をふやそう〜給食をつくる人・大研究』(一年生)の授業分析—81
森脇 健夫(三重大学)
- 10:30 ③ 子どもが判断をAから $\bar{A}$ に自ら変化させるのを援助する授業方法のビデオによる実証的研究(その1)
—コミュニケーション能力と追求能力を形成する学級づくりの方法原則の検証—82
○宮坂 義彦(ノートルダム清心女子大学)
○石井 俊樹(名古屋市立田代小学校)
森川 拓也(三重県青山町立阿保小学校)
尾上 博祥(岡山市立平津小学校)
- 11:10 ④ 子どもが判断をAから $\bar{A}$ に自ら変化させるのを援助する授業方法のビデオによる実証的研究(その2)
—子どもの追求活動を組織する授業づくりの方法原則の検証—83
○宮坂 義彦(ノートルダム清心女子大学)
石井 俊樹(名古屋市立田代小学校)
○森川 拓也(三重県青山町立阿保小学校)
尾上 博祥(岡山市立平津小学校)

自由研究13

(5303室)

司会者 笹本 正樹(高松短期大学)
三上 勝夫(北海道教育大学)

- 9:30 ① 中堅教師のメンタリング(1)84
○石川 治久(早稲田大学大学院)
河村 美穂(早稲田大学大学院)
- 10:00 ② 中堅教師のメンタリング(2)—実践事例からの検討—85
○河村 美穂(早稲田大学大学院)
石川 治久(早稲田大学大学院)
- 10:30 ③ 「差異」概念に対する認識論的差異についての一考察—「共生教育」の体系化に向けて—86
高橋 舞(立教大学大学院)
- 11:00 ④ アメリカのサービスラーニングカリキュラムに関する一考察87
倉本 哲男(九州大学大学院)
- 11:30 ⑤ 島小の教育実践88
狩野 浩二(鹿児島大学)

課題研究Ⅲ

授業改善に教育評価はどうかかわるか

(5307室)

コーディネーター・司会者

天 野 正 輝(京 都 大 学)

寺 尾 慎 一(福 岡 教 育 大 学)

提案者

加 納 幹 雄(国立教育政策研究所)	これからの評価の基本的な考え方と課題 ……89
黒 崎 東洋郎(岡 山 大 学)	新学習指導要領の意図実現に関わる現職教員の指導観・評価観 ……90
西 岡 加名恵(鳴 門 教 育 大 学)	ポートフォリオ評価法の可能性を探る ー教育評価への子どもの参加ー ……92

(設定趣旨)

今日、授業改善と教育評価を巡る議論は、数多くの人々の関心を集めているものの一つである。新学習指導要領は生きる力の育成を目指し、特色ある学校づくり、特色ある教育課程編成の問題とともに基礎・基本重視の授業を強く要請しているが、ここに評価はどうかかわるのがよいか。総合的学習では自己評価やポートフォリオ評価が注目されている。

併せて、昨年末の教育課程審議会答申による目標に準拠した絶対評価への移行という流れの中、各教科の授業にあたっては評価基準、評価方法の明確化が国のレベルで検討されており、児童生徒の学習における評価の見直しが求められている。また、教育課程評価（カリキュラム評価）をどうするのかという問題も、学校の責任上、求められている。

教育評価を巡る議論は多岐にわたるが、本課題研究では、上に見るような動向を受けて、提案者には授業改善に結ぶ評価の役割について新しい視点と枠組みの明確化を図っていただき、21世紀のわが国の授業に評価が果たす方向性を明らかにしたいと願っている。

課題研究Ⅳ

情報通信技術(ICT)による学びの変化とその研究のあり方

(5206室)

コーディネーター・司会者

大谷 尚(名古屋大学)

水越敏行(関西大学)

提案者

生田孝至(新潟大学) 教育におけるICTの活用と教師の力量 ……93

黒上晴夫(金沢大学) 学校間交流学習におけるデジタルコンテンツの利用 …94

柴田好章(名古屋大学) 情報通信技術(ICT)の利用が日常化する時代における授業のあり方と教師・研究者の役割 ……96

(設定趣旨)

本年度中に、日本中の学校がインターネットに接続されることになる。これにより、情報通信技術を活用した学習が広がり、それが学習の質を変化させていくことが予想される。そこで本課題研究では、ICT時代における学びについて、以下の3つの視点から検討する。

1. ICTの活用による学びの変化について。
2. 教師の役割と教師教育について。
3. メディアリテラシー教育のあり方について。

1では、インターネットへの接続で、学びはどのように変化してきたのかを、実践事例の検証を通して明らかにするとともに、今後への展望を得る。2では、ICT時代の学校教育において、教師の役割の何が変わり、何が変わらないかを検討する。またそれに基づいた教師教育の課題を探る。3では、新しいリテラシー、つまりメディアリテラシーの教育に、今何が求められているのかを探る。

これら3点での協議を踏まえて、これからの情報通信技術の教育や教師教育のあり方を考える。なおこれらを通じて、今後の研究のあり方を展望することも本研究の課題とする。

9月30日(日) 13:00~15:00

課題研究 V

授業研究方法論の検討

ー岡山市内小学校での実際の授業づくりを基にしてー

(5208室)

コーディネーター・司会者

柴田 義松(東京大学名誉教授)

豊田 ひさき(大阪市立大学)

提案者

宮坂 義彦(ノートルダム清心女子大学)

授業方法の言説の日常性を授業で吟味する前提が研究方法論に欠落していないか

ー子どもは、「ぼく、もう家へ帰らなくっちゃ、がまくん」などで、自分のイメージを変えることができるかー……………98

指定検討者

麻生 信子(筑紫女子学園大学非常勤)

阿部 昇(秋田大学)

(設定趣旨)

教育研究方法論の検討は、本学会の課題研究として第30回大会以来いろいろな角度から継続して行われてきた。今回は、小学校国語の実際の授業を素材として授業研究の方法論を検討することにした。

この授業づくりに以前から協力・参加してきた宮坂義彦氏から、授業づくりの視点、授業研究の方法論を具体的な授業案・授業記録(ビデオ)とともに提起してもらい、指定討論者には、実際の授業観察を基にしてそれぞれの立場からの意見を述べてもらう。

小学校での実際の授業づくりと結びつけて研究方法論を論議することにより授業研究の新しい進路が拓けることを期待したい。

授業者:尾上博祥(岡山市立平津小学校)

教材:アーノルド・ローベル作『お手紙』(光村図書教科書2年下)

日時:9月28日(金)3校時に実施

日本教育方法学会刊行書籍

教育方法12.	学級教授論と総合学習の探究	1 9 8 2	(2,600円)
教育方法13.	いま授業で何が問われているか	1 9 8 4	(2,400円)
教育方法14.	子どもの人間的自立と授業実践	1 9 8 5	(2,800円)
教育方法15.	実践にとって教授学とは何か	1 9 8 6	(品切れ)
教育方法16.	個性の開発と教師の力量	1 9 8 7	(2,400円)
教育方法17.	教育方法を問い直す	1 9 8 8	(2,900円)
教育方法18.	新教育課程と人間的感性の育成	1 9 8 9	(1,942円)
教育方法19.	知育・徳育の構想と生活科の指導	1 9 9 0	(1,709円)
教育方法20.	学校文化の創造と教育技術の課題	1 9 9 1	(1,709円)
教育方法21.	自己学習能力の育成と授業の創造	1 9 9 2	(品切れ)
教育方法22.	いま、授業成立の原則を問う	1 9 9 3	(1,806円)
教育方法23.	新しい学力観と教育実践	1 9 9 4	(1,806円)
教育方法24.	戦後教育方法研究を問い直す	1 9 9 5	(2,806円)
教育方法25.	戦後50年、いま学校を問い直す	1 9 9 6	(1,903円)
教育方法26.	新しい学校像と教育改革	1 9 9 7	(1,800円)
教育方法27.	新しい学校・学級づくりと授業改革	1 9 9 8	(1,960円)
教育方法28.	教育課程・方法の改革		
	— 新学習指導要領の教育方法学的検討 —	1 9 9 9	(1,860円)
			(価格は税別)

〒170-0005

東京都豊島区南大塚 2-39-5

明治図書

TEL.(編)03-3946-3151・3152

TEL.(営)048-256-1175

『教育方法』は、大会当日、会場にて大会割引価格にて販売いたします。

この機会に多数の方々のご購入をお願いいたします。

『教育方法29』より、図書文化から出版されることになりました。

教育方法29.	総合的学習と教科の基礎・基本	2 0 0 0	(1,800円)
			(価格は税別)

最新刊・教育方法30

『学力観の再検討と授業改革』

〈内 容〉

- I. いま、子どもにどんな力をつけるのか
- II. 21世紀の学校と授業はどう変わるべきか
- III. 教育方法学研究の研究動向

〒112-0012

東京都文京区大塚 1-4-5

図書文化

TEL. 03-3943-2516